

# 地理学を知り、 災害を読む。

— 「命を守る教育」に繋げる「地理総合」 —

2026年7月25日（土） ※ 申込締切：7月15日（水）

受付：9:30 開始：9:50 終了予定：16:30

国士舘大学世田谷キャンパス（会場等の詳細は、後日下記HPに掲載する予定です）

国士舘大学地理・環境コースHP (<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri>)

東北地方太平洋沖地震の発生から15年が経ちました。この間、学校現場ではいわゆる「防災教育」がさまざまな形で実践され、文部科学省もその取り組みを推進してきました。また、高校では「地理総合」が必修化され、その内容に「防災」が含まれることになりました。しかし、「地理総合」は歴史や公民を専門としてきた教員が担当することも多く、いくつかの課題も指摘されています。そこで今回のワークショップでは、あらためて「地理学とは何か」という視点に立ち、防災・減災の分野においてなぜ地理学が重要なのかを考えていきます。また、「命を守る教育」に繋げる「地理総合」とは何か、使えるツールにはどのようなものがあるのか、など実践に繋がる解説も行います。当日は、簡単なフィールドワーク（街歩き）も行う予定です。地理を専門としない教員の参加も大歓迎です。

## プログラム（予定）

- |         |   |               |
|---------|---|---------------|
| ● 9:50  | 開式の言葉・趣旨説明                                      | 小山 拓志（国士舘大学）  |
| ● 10:00 | フィールドワークのポイント                                   | 小山 拓志（国士舘大学）  |
| ● 10:15 | フィールドワーク（大学周辺） ※少雨決行<br>(11:00-11:10 休憩)        | 地理・環境コース教員    |
| ● 11:10 | 「災害を読む」ということ：地域を知るための視点とツール<br>(12:10-13:00 昼食) | 小山拓志（国士舘大学）   |
| ● 13:00 | 「地表の凹凸」は災害を語る                                   | 佐々木 明彦（国士舘大学） |
| ● 14:00 | 街の歴史から災害を考える<br>(14:00-14:10 休憩)                | 岡島 建（国士舘大学）   |
| ● 14:10 | 「命を守る教育」に繋げる「地理総合」+学校防災の在り方                     | 小山拓志（国士舘大学）   |
| ● 15:30 | 討論・質疑応答（16:30 終了予定）                             | 小山拓志（国士舘大学）   |

## 申し込み方法（下記いずれかで申し込みをして下さい）

- ① Googleフォーム（<https://forms.gle/EXzq5hTbA3pzj1RQ8>）※QRコードからも回答可
- ② メール申し込み（小山拓志：takushi.k@kokushikan.ac.jp）



メール申し込みの場合は、【氏名】、【所属（学校名）】をお書きください。こちらから返信させていただきます。